

平成 25 年度事業計画

(平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)

はじめに

昨年、「公益社団法人関西吟詩文化協会」としてスタートし 2 年目の年を迎えます。

「詩吟そのものが公益である」と認められ、国の伝統技芸のひとつとして、国民の精神文化の向上発展に寄与していると認定されたことは、本会創立以来の長い歴史の積み重ねの成果であり、誇りをもつて吟詠活動に努めてまいります。又昨年法律で 11 月 1 日が「古典の日」に制定され文部科学省から各行政機関・教育関係機関に日本の伝統文化の活動を実施するよう指示がなされました。我々はこれを好機と捉え、着実に日々前進し続け、将来へ向かって新たな伝統を継承してゆかなければならないと決意を新たにすところであります。

昨年度に、会員増員対策委員会・財政健全化委員会・法人化整備委員会よりそれぞれ短期・長期にわたる答申を受けて、短期的に本年度の目標を制定致しました。

吟界は、吟詠人口の減少と愛好者の高齢化という大変厳しい環境にありますが、全会員が心をひとつにして「温故新生」、大胆に、勇気を持って課題に挑戦し続けたいものがあります。

中期課題として次の 4 点に取り組んでまいります。

- ① より多くの人に吟詠を楽しんで頂く為の施策の実施
- ② 会員増員施策の実施
- ③ 健全な財務体質の確立
- ④ 公益法人にふさわしい運営体制の整備

【平成 25 年度基本方針】

スローガン

『心を結ぼう「一語一縁」』

「温故新生」

最重点項目 「青年部員及び中堅指導者の強化」

- ・明日の関西吟詩文化協会を支える青年部員の養成
- ・指導資格保持者の指導活動促進

重点項目

1. 会員増員対策の更なる展開
2. 健全な財務体質確立を目指し中期計画の検討
3. 公益法人移行に基づく体制の整備
4. 吟界・会員高齢化に対応出来る制度の検討
5. 創立 80 周年記念全国吟道大会の開催

重点課題

- 1、 会員増員対策の更なる展開
 - (1) 幼少年・青年部活動の充実中長期会員増員策(10年後の目標)の策定
 - (2) 不特定多数の人に吟詠の良さを知らせるための吟詠普及推進事業の実施。
 - (3) 不特定多数の人に対する吟詠啓発活動推進(助成策の実施)
 - (4) 新教場開設の推進(会員増員対策の実施)
 - (5) 指導資格取得期間短縮と指導者の養成研修会の実施
 - (6) メディア活用による吟詠普及活動の実施
- 2、 地方活性化と地区連合会組織の確立
 - (1) 連合会組織の充実・活性化
 - (2) 連合会代表者との課題共有
 - (3) 地区連合会での青年部組織の確立
- 3、 健全な財務体質確立を目指した中期計画の検討
 - (1) 25年度以降の事業計画の抜本的見直し
 - (2) 会員数・昇格昇段者数の将来予測と事業量のバランス改善検討
 - (3) 固定費圧縮を含めた経費計画の見直し
- 4、 公益法人移行に基づく体制の整備
 - (1) 公益法人に求められている合法的、合理的、透明性の高い運営の勉強会実施
 - (2) 内部運営規約の完備
 - (3) 情報公開の促進(ホームページ・吟詩日本の有効活用)
- 5、 創立 80 周年(並びに公益社団法人認定祝賀会) 記念大会の開催
- 6、 災害支援活動の継続

平成 25 年度事業計画

自:平成 25 年 4 月 1 日～至:平成 26 年 3 月 31 日

1. 公益目的事業

本会は、詩歌吟詠をより多くの人々に普及する為に、次の事業を行う

公益目的 1 伝統芸能である詩歌吟詠の普及推進事業

(1) 吟詠普及推進事業吟詠大会 (一般来聴公募)

関西吟詩の優れた吟詠を披露し、吟詠のすばらしさを広く不特定多数の方々に紹介し、吟詠の普及を図る。

① 吟詠普及推進吟詠研修大会 (一般来聴公募)

- ・特別研修会兼推薦師範研修会・・・平成 25 年 6 月 16 日
約 400 人
- ・九州地区大会・・・平成 25 年 6 月 30 日 (日)
約 250 人参加予定 (内一般会員他 100 人)
- ・岡山地区大会・・・平成 25 年 8 月 25 日 (日)
約 200 人参加予定 (内一般会員他 70 人)
- ・四国地区大会・・・平成 25 年 8 月 25 日 (日)
約 200 人参加予定 (内一般会員他 70 人)
- ・京滋福井地区大会・平成 25 年 9 月 1 日 (日)
約 200 人参加予定 (内一般会員他 70 人)
- ・名古屋地区大会・平成 26 年 2 月 23 日 (日)
約 200 人参加予定 (内一般会員他 70 人)

(2) 記念大会 (一般来聴公募)

- ・関西吟詩文化協会創立 80 周年記念並びに
公益社団法人設立 2 周年記念吟道大会
平成 26 年 3 月 16 日(日)
於:ポートアイランドホール(神戸ワールド記念ホール)
約 6,000 人参加(内一般会員他 2,000 人)
- ・各公認会等の記念大会等への後援

(3) 吟詠普及啓発活動の実施

- ① 青少年及び教育関係等に対する講師の派遣。
 - ・小中学での課外授業への積極的参加
 - ・公認会などでの青少年詩吟教室開催への講師の派遣
 - ・幼児、児童、生徒 (義務教育) 向け教本の提供
- ② 福祉施設・地域公民館活動に於ける吟詠普及活動の推進
- ③ 学校・図書館などへの吟詠資料提供。
 - ・公的図書館及び学校の図書館に「教本」・「吟剣詩舞の DVD」の提供

- ④ 他の文化団体とのコラボレーションへの積極的な参加
- ⑤ 路上ライブなどへの積極的参加

(4) 吟詠普及啓発活動助成事業

前(3)項の各推進活動に対して、一定限度内で助成を行う。

(5) 全国幼少年青年部吟詠大会 (一般来聴公募)

平成 25 年 10 月 20 日 (日) 於：四條畷市市民ホール
約 400 名参加予定 (内幼少年 70 人・青年部 100 人)

(6) 電磁的公報、機関誌発行

① 吟詠普及の為のテレビ放映の実施

- ・ J:COM 「幼少年青年部吟詠大会」の放映。
(有線放送) ビデオオンデマンドにて放映

② ホームページでの吟詠普及

- ・ 漢詩紹介・吟詠コーナー・動画コーナーを拡充し広く吟詠を紹介する。
- ・ 特に若年層向けコーナーを設置し、幼少年・青年部の活動を紹介する。

③ 機関誌「吟詩日本」を発行 (一般販売)

- ・ 漢詩和歌の紹介、作詩法、応募の自作詩の掲載
- ・ 「吟詩日本」発行 (161号、162号、163号、164号)
- ・ 「吟詩日本」特別号発行 (正会員、準会員への無料配布)

(7) 教本発行 (一般販売)

① 教本冊子頒布

- ・ 教本絶句編 6冊(180題)
 単行本 A61～A64 4冊(12題)
- ・ 教本律詩編 B1～B3 3冊(90題)
 単行本 B31～B33 3冊(9題)
- ・ 教本古詩編 C1～C3 3冊(65題)
- ・ 教本和歌・俳句・新体詩 D1 1冊(30題)
 単行本 D11 1冊(3題)
- ・ 教本副読本(アクセント入り)
 4句詩編 1冊
 6・8句詩編 1冊
 長詩編 1冊
- ・ 教本縮刷本 A(絶句編)
 B(律詩編)
 C(古詩編)

② 新教本発行

- ・ 教本発行和歌編 D12～D13 2冊(6題)

③ 「たのしい吟詠」の配布 (無料提供用教材)

- ・ 学校・福祉施設・地域公民館活動などでの吟詠普及活動用教本
(ドレミファの譜面付)

(8)海外移動教室の開講

- ・中国研修(石川忠久先生と漢詩の世界探訪)

平成 25 年 10 月 (予定) 参加者 約 30 名

(9)災害復興支援活動の実施

- ・災害復興義援金の募集活動継続実施 (各事業毎に呼びかける)

公益目的 2 詩歌吟詠の技能向上を図り継承発展に寄与する事業

(1) 競吟大会の開催 (一般来聴歓迎)

- ① 全国新人中間層競吟大会 平成 25 年 11 月 17 日 (日)

於 未定

参加者 800 名 出吟者 300 名

〈予選大会〉大阪・九州・中国・四国・東海・京都・滋賀・奈良・兵庫・岡山で開催し延出吟者約 2,000 人(内正会員なし)

- ② 全国準師範師範代指導者級吟士権大会

平成 25 年 12 月 8 日 (日) 於：未定

参加者 800 名 出吟者 210 名

〈予選大会〉大阪・九州・中国・四国・東海・京都・滋賀・奈良・兵庫・岡山で開催し延出吟者約 1,500 人(内正会員なし)

(2) 昇段試験、昇格試験および研修会の実施

- ・内部規定に基づき昇段試験を行い合格者に段位を授与する。
- ・内部規定に基づき師範代・準師範・師範の昇格試験を実施し合格者に指導者としての資格を授与し、吟詠の普及活動に従事する。

- ① 昇段試験は内部規定に基づき、一次審査は各公認団体毎に実施し、二次審査は総本部において実施し、会長が認定する。

平成 25 年 7 月 1 日 昇段免許授与

平成 26 年 1 月 1 日 昇段免許授与

- ② 地方昇格試験および研修会を実施する(師範・準師範・師範代)

福岡試験場 6 月 30 日

広島試験場 6 月 30 日

名古屋試験場 6 月 30 日

- ③ 昇格試験及び研修会実施 (総本部試験場)

師 範 7 月 7 日

準師範 7 月 21 日

師範代 7 月 28 日

(昇格試験に合格したものには、9 月 1 日付で、9 月 15 日の東明祭において免許状を授与する)

(3) 研修会の開催

吟詠指導力の向上の為、専門講師を招き科学的発声法・作詩法・関西吟詩文化協会の吟法・指導方法などの研修を行う。

① 吟詠普及推進研修会

- ・九州地区大会・・・平成25年6月30日(日)
約250人参加予定(内一般会員他100人)
- ・岡山地区大会・・・平成25年8月25日(日)
約200人参加予定(内一般会員他70人)
- ・四国地区大会・・・平成25年8月25日(日)
約200人参加予定(内一般会員他70人)
- ・京滋福井地区大会・平成25年9月1日(日)
約200人参加予定(内一般会員他70人)
- ・名古屋地区大会・平成26年2月23日(日)
約300人参加予定(内一般会員他100人)

② 指導者研修会

- ・特別研修会兼推薦師範研修会・・・於 大阪市立此花区民ホール
平成25年6月16日
約400人参加予定(内一般会員他150人)
- ・平成26年度師範昇格試験課題詩講習会 於 交野市ゆうゆうセンター
平成25年9月8日(日)
吟詠6題 和歌3題 約400人参加
- ・平成25年度準師範師範代昇格試験課題詩講習会
平成25年11月24日(日) 於:未定
律詩8題 絶句10題約400人参加
- ・新教本講習会
平成25年5月12日(日) 於:エイリック(尼崎)
和歌3題 約400人参加
平成25年9月15日(日) 於:エイリック(尼崎)
和歌3題 約400人参加

③ 吟道大学講座の開講

- ・平成26年1月25日～26日 於:パナソニックリゾート
- ・漢詩、作詩法、発声の学理・指導者の心構え・組織運営と活性化等の研修

参加者 約150人

④ 作詩講座 (一般公募)

作詩の講座を開催し、広く一般の方にも作詩を広めるとともに作詩技量の向上を図る。

- ・毎月第2金曜日 午後6時～8時00分迄
- ・年12回(前期、後期に分けて)
- ・於 総本部 会議室 参加者数 延 約600名

⑤ 作詩添削

一般の方々にも呼びかけ、自作の漢詩を作詩の専門家による添削などの指導を行うとともに自作漢詩を機関誌に掲載し、作詩技量向上をはかる。

- ・4回/年 延 参加者数 400名

⑥ 漢詩鑑賞講座 (一般公募)

漢詩鑑賞の講座を開催し、漢詩・作者と歴史背景から広く一般の方にも漢詩を広めようとするもの。

- ・ 毎月 1 回 午後 1 時～4 時 00 分迄
- ・ 年 12 回
- ・ 於 総本部 会議室 参加者数 延 約 400 名

(4) 研究会

時代に受け入れられる吟詠を目指し、吟詠法の研究を行うとともに、新しい教本を発行し、各種研修会の内容の充実を図るとともに、吟詠芸術を探求するなどの研究を行う。

- ・ 教養指導部指導科会 毎月 1 回以上
- ・ 教養指導部教養科会 6 回／年以上
- ・ 秀詠グループ吟詠研究会 6 回／年以上

(5) 部会・委員会

広く不特定多数の人に、吟詠に関する調査・研究の成果および吟詠普及活動のための公報活動を行う

- ・ 広報部 12 回/年
- ・ ホームページ委員会 12 回/年

吟詠普及推進事業の企画運営を行うとともに、将来の課題に対し、対策案を提言する。

- ・ 企画渉外部 12 回/年

(6) 委員会

会員及び不特定多数の人への吟詠普及活動をより円滑に行う為委員会を設置する。

- ・ 作詩添削委員会
- ・ 公益社団法人関西吟詩文化協会創立 80 周年記念並びに公益社団法人設立 2 周年記念全国吟道大会実行委員会

2. 収益事業

収益 1 主として会員向けに教材等を頒布する事業

吟詠普及活動の一助として参考図書・CD を頒布する。

(1) 参考図書販売

- ①誰にでもできる漢詩の作り方 (太刀掛呂山著)
- ②作詩便覧 宮崎東明編
- ③作者便覧 日本編 関西吟詩文化協会発行
中国編 関西吟詩文化協会発行

(2) CD の頒布 ①俳句新体詩伴奏曲編

- ②和漢名詩選(1) (既存)
- ③和漢名詩選(2)・・・(既存)
- ④和漢名詩選(3)・・・(既存)
- ⑤本部指導者研修会収録編

(3) カセットテープの発売

- ①音階及び譜名表編
- ②国歌・関西吟詩会歌用伴奏編

(4) DVD の頒布

- ①「坂本龍馬」 (既存)
- ②「高杉晋作」 (既存)
- ③「李白」 (既存)
- ④「浮き真砂」・・・(既存)
- ⑤「勝海舟」・・・(既存)

収益 2 吟詠の技量審査による段位認定並びに資格認定合格者に認定証(許證)を交付する事業

(1) 昇段・昇格認定証(許證)交付事業

① 昇段免状授与

所定の昇段試験に合格した者に対し免状を授与する。

平成 25 年 7 月 1 日

平成 26 年 1 月 1 日

② 昇格資格者への免状の授与 (師範代・準師範・師範)

所定の昇格試験に合格した者に対し免状を授与する。

平成 25 年 9 月 1 日

③ 特別昇格 (上師範・高師範・総師範・宗範)

所定の昇格資格に従って特別昇格の免状を授与する。

平成 25 年 9 月 2 日

(2) 記章の販売

「宗帥・宗範・総師範・高師範・上師範・師範・準師範・師範代・会員」バッチの販売

3. 相互扶助事業

年度計画事業を円滑に推進する事業

- (1) 東明祭の開催 平成 25 年 9 月 15 日 (日)
- (2) 会員増員表彰 (個人、支部、会) 於 東明祭 平成 25 年 9 月 15 日 (日)
- (3) 敬老祝、成人祝 於 東明祭 平成 25 年 9 月 15 日 (日)
- (4) 功労者等顕彰の実施 於 東明祭 平成 25 年 9 月 15 日 (日)
 - 表 彰 吟功章 (上師範、高師範、総師範、宗範)
 - 特別昇格 (上師範、高師範、総師範、宗範)
 - 特別功労章 (宗 帥)

- (5) 新年互礼会 平成 26 年 1 月 12 日 (日)

4. その他の事業

(1) 定時総会の開催

平成 25 年 6 月 1 日 (土) 於:エーリック(尼崎市)

(2) 各種会議

- ① 総会
- ② 役員会(正副会長会、理事会、)
- ③ 元老・相談役・参与会議
- ④ 部 会 (総務部・財務部)
- ⑤ 懇談会
 - 教育関係者懇談会
 - 会員増員被表彰者懇談会
 - 青年部員懇談会
 - 都府県連合会代表者会議
 - 都府県連合会連絡協議会
- ⑥ 財政健全化検討委員会
- ⑦ 法人体制整備委員会
- ⑧ その他特定検討委員会

以上